

AVニュース エキスポレス

専門家会議「ITで築く確かな学力～その実現と定着のための視点と方策～」報告書提出
平成14年度「全国視聴覚教育研究会—滑川大会—」開催
「国立オリンピック記念青少年総合センター研究紀要第3号」投稿原稿募集
「2002年 ICEMメディアデイズ」出品作品決まる
第41回「長野県高等学校視聴覚教育研究大会—須坂大会—」
平成14年度「関東甲信越放送・視聴覚教育研究大会—群馬大会—」開催

文科省情報

■専門家会議「ITで築く確かな学力～その実現と定着のための視点と方策～」報告書提出

文部科学省の「初等中等教育におけるITの活用の推進に関する検討会議」（座長：坂元昂メディア教育開発センター所長）は、初等中等教育におけるITの効果的な活用のさらなる深化とその地域における伝播定着を図り、平成17年度までにすべての学級のあらゆる授業においてコンピュータや高速インターネットを活用できるようにするための諸方策について検討を重ね、このほど報告書を矢野重典初等中等教育局長に提出した。報告書は「確かな学力とIT」「IT活用の推進のための基本的視点」「IT活用の推進のための条件整備」の3つの柱

で構成されており、その詳細は文部科学省のホームページにて見ることができる。
<http://www.mext.go.jp/>

研究会情報

■平成14年度「全国視聴覚教育研究会—滑川大会—」開催

滑川市教育委員会ならびに（財）松下視聴覚教育研究財団の主催による標記研究会が、富山県滑川市にて開催される。

〈開催日〉

平成14年11月15日（金）

〈大会テーマ〉

「高度情報社会を創造的に生きる児童・生徒の育成～マルチメディアの活用を通して～」

〈プログラム〉

●公開授業

市内4か所の小・中学校を会場に公開授業を行う。

①寺家小学校（滑川市寺家町

98）／AM8:20受付

②西部小学校（滑川市上島471）／AM9:00受付

③滑川中学校（滑川市下島54）／AM8:20受付

④早月中学校（滑川市中野島1260）／AM8:20受付

●シンポジウム

テーマ：「ネットワークが拓く教育の可能性」～地域に学び世界に目を広げよう～／会場：早月中学校（滑川市中野島1260）／PM1:30～3:00

●記念講演

テーマ：「日米の違いからみる子どもの教育」／講師：ロバートソン黎子（ジャーナリスト）／PM3:10～4:30

〈問い合わせ〉

●全国視聴覚教育研究会滑川大会事務局 〒936-0065富山県滑川市下島54 滑川市教育センター TEL 076-475-0281

e-スクール ～インターネット フェスティバル～

文部科学省では、将来の世界最先端のIT国家を担う子どもたちが、コンピュータやインターネットに慣れ親しみながら学ぶ様子や、学習の成果を広く一般に紹介することを通じ、学校教育の情報化を一層推進することを趣旨に、標記事業を実施している。その中心的な行事が、10月10日から14日まで石川県で開催される「第14回全国生涯学習フェスティバル まなびピア石川2002」で実施される。具体的には、インターネットフェスティバル企画委員会（主査：清水康敬国立教育政策研究所教育研究情報センター長）が組織され、数ヶ月にわたって実施されてき

た4つのプロジェクトの成果が、各種イベントとして発表される他、イベントの様子がインターネットによりライブ中継される。e-スクールの概要は以下の通り。

〈4つのプロジェクト〉

- ①デジタル授業プロジェクト
- ②学校間交流プロジェクト
- ③国際交流プロジェクト
- ④学校と家庭・地域との連携プロジェクト

〈ステージ発表〉

- 10月10日(木) 10:30～12:00
・デジタル授業プロジェクトーデジタルコンテンツを生かした模擬授業の実施
- 10月11日(金) 10:30～12:00
・学校間交流プロジェクトーテレビ会議を利用した学校間交流の実施
- 10月13日(日) 10:30～12:00
・国際交流プロジェクトー海外

の高校との交流とコラボレーション

〈ブース展示〉

- 10月10日(木)～14日(月)
10:30～16:30(最終日は16:00)
・4つのプロジェクトの展示

〈ブース発表〉

- 10月10日(木) 13:30～15:30
・学校と家庭・地域との連携プロジェクトー小松工業高等学校
- 10月13日(日)・14日(月)
13:30～15:30(両日とも)
・学校と家庭・地域との連携プロジェクトー誰でもできるネットワーク設定

〈インターネットライブ配信〉

- 会期中、ステージ発表、ブース展示、ブース発表をインターネットでライブ中継する。教育情報ナショナルセンターホームページ (<http://www.nicer.go.jp/>) から見る事ができる。

AV 情報

■「国立オリンピック記念青少年総合センター研究紀要第3号」投稿原稿募集

国立オリンピック記念青少年総合センターでは、標記の投稿原稿を下記の要領にて募集する。

〈テーマ〉

「青少年教育」に関するもの。特に、近年青少年教育においてその重要性が指摘されている「青少年の体験活動（ボランティア活動、自然体験活動等）」に関する原稿。

〈投稿原稿の種類〉

「青少年教育」に関する報告（調査報告、実践報告、事例紹介など）、論文（研究ノートを含む）、資料（青少年教育に関する各種データ、情報など）等。

〈投稿資格〉

社会教育関係者、学校教育関係

者、青少年教育に関心のある者で当センター理事長が認める者。

〈投稿の事前連絡〉

投稿を希望する方は、事前に「投稿原稿連絡票」（ホームページ等により入手）に必要事項を記入し、平成14年10月31日（木）までに下記の問い合わせ先まで送付のこと。

〈原稿提出期限〉

平成14年11月30日（土）

〈掲載の採否〉

投稿原稿は、国立オリンピック記念青少年総合センター研究紀要委員会による査読を行い、その採否を決定する。

〈原稿の提出方法〉

原稿は、A4用紙に印刷した原稿と電子ファイル（FD）の両方を郵送または持参のこと。

〈発行予定〉平成15年3月

〈問い合わせ〉

独立行政法人国立オリンピック

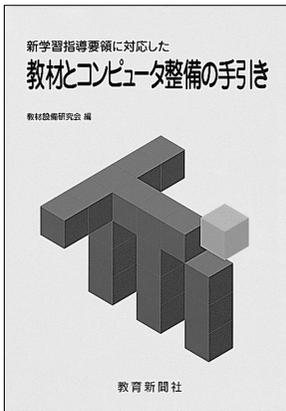
記念青少年総合センター事業部
事業課調査研究係 〒151-0052
東京都渋谷区代々木神園町3-1
TEL 03-3467-7201
E-mail:kiyo@nyc.go.jp
<http://www.nyc.go.jp/raise/cl.html>

海外情報

■「2002年 I C E Mメディアアデイズ」出品作品決まる

ICEM主催（国際教育メディア協議会 <http://www.icem-cime.com/>）による標記教材見本市「メディアアデイズ」は、10月16日～21日にかけてスペインのグラナダにおいて開催される。今年の日本文からの出品は下記作品に決まった。「ぼけと向きあう日ー痴呆性高齢者の介護ー（LIVING WITH DEMENTIAーCaring for elderly with dementiaー）」東京シネ・ビデオ、46分、ビデオ（英語版）

ブックレビュー



「新学習指導要領に対応した教材とコンピュータ整備の手引き」

遠山耕平監修 教材設備研究会編
教育新聞社 2002年9月刊 A4判
227頁 2,400円(税別)

文部科学省では、新学習指導要領を実施するにあたり、「標準教材品目」を廃止して、それに代わる参考資料として、「教材機能別分類表」をとりまとめた。

今後は、この分類表を参考に、教材の機能を重視した教材整備を各学校が主体的に進めていくことになる。また、ミレニアムプロジェクトによって推進されている、普通教室等へのコンピュータの導入についても同様に、学校の裁量によるところが大きい。

本書は、元文部省初等中等教育局長の遠山耕平氏が監修にあたり、「教材機能分類表」と「教育用コンピュータ」について、その設定、整備、活用方法、財源措置等が詳細に解説されている。

〈目次から〉

I 教材整備

教材整備の経緯、教材機能別分類表、教材整備計画、地方交付税による財源措置等

II 教育用コンピュータ整備

情報教育のための条件整備、教育用ソフトウェアやコンテンツの整備・開発、教員研修の実施について等

III 資料

小・中学校、盲・聾・養護学校機能別分類表、文部科学省通知(教材関係)などが収められている。

I、IIでは、項目の最後に、教育現場から起こりそうな質問を(Q&A)形式にまとめている。

IIIには機能分類表も添付されており、教育の現場には、必携の1冊といえよう。

各地の情報

■第41回「長野県高等学校視聴覚教育研究大会—須坂大会—」

長野県高等学校視聴覚教育研究会では、10月18日(金)須坂市文化会館他において「完全週5日制の下、ゆとりの中で生きる力や学ぶ意欲を育成するための視聴覚教育のあり方を探ろう」をテーマに標記研究大会を開催する。

内容—12公開授業、6教科別研究会、4機材・課題別研究会／記念講演—佐々木正之氏(NHKチーフディレクター)／参加費—無料／申込・問い合わせ—須坂東高校内 斎藤好明(026-245-0331)

■平成14年度「関東甲信越放送・視聴覚教育研究大会—群馬大会—」開催

情報通信技術の急進展は通信

環境の高速化やネットワーク化を伴い、教育メディア活用の放送教育・視聴覚教育・情報教育等の役割はますます高まる中、21世紀、新たな教育メディアの活用を目指し、標記研究会が開催される。(主催：日本学校視聴覚教育連盟、関東甲信越学校視聴覚教育連盟他)

〈開催日〉

平成14年11月1日(金)

〈開催地〉

群馬県太田市

〈プログラム〉

「最新情報通信コンテンツと教育メディアの活用」(講師：木原俊行氏 大阪市立大学大学院助教授)

●番組プレゼンテーション

放送教育などの推進の立場から、番組制作と放送コンテンツ活用推進の現状とデジタルコンテンツなど、教育メディア活用

の方向性を提言。(プレゼンター：箕輪貴氏 NHK教育番組部チーフ・プロデューサー)

●公開授業／課題別分科会

太田市立南小学校(授業：学級活動・保体・総合的な学習／課題別分科会テーマ：放送・視聴覚教材利用)、他市内全9会場にて公開授業ならびに課題別分科会が開催される。

〈参加費用〉

大会参加費：3,500円／昼食代：1,000円／大会記録集：1,000円

〈問い合わせ〉

平成14年度関東甲信越放送・視聴覚教育研究大会太田市事務局(太田市立宝泉東小学校内) 小林敏夫 〒373-0035 群馬県太田市藤久良町1

TEL 0276-31-2422

<http://www.edu-c.pref.gunma.jp/gakko/tyu/g-info/>